

水源禅師法話集 77

(2017 年 5 月 4 日 大阪合宿 6 日目)

2018 年 1 月 19 日

一乗禅の会



マンダレー、ミャンマー

目次

水源禪師法話.....	3
「五蘊照見」「受、想、行、識」そして「パニヤ・智慧」.....	3
無量の過去世の情報の阿頼耶識を綺麗に整理する為に、今、瞑想している.....	4
ただただ一つの教科だけ、それが十分完成したらそれが又大事な踏み台になる.....	5
慈悲のカケラの一つもないデーヴァダッタは今に始まった事ではない.....	7
ヒナ鳥を必死に守ろうとする親鳥と他の鳥達、そして恩義も忘れない.....	9
本当に生きる事に偉いのは動物達、劣化しているのは私達、人間.....	10
強い国が弱い国をいじめている因果は大きい、正しい国は必ず返り咲く.....	11
お釈迦様は動物になっても先生になっても未来を予測し、いつも良い事をする.....	11
無残な帝国は寿命が短い.....	13
質疑応答.....	14
モンキーマインドを鎮めて、静かに心をずうっと観るには・・・.....	14
不動明王の火で魔や邪気を払う.....	17
非常事態に備えて、最低 水、マッチ、ローソク、新聞紙、ゴミ袋 etc.・・・.....	18
瞑想により、又外宇宙的生命体により守られている地球.....	19
アメリカの借金で戦争が起こりそうになったら米、油、小麦粉は用意して.....	20
あまりにも嘘をつく「民主主義」.....	21
一本のマッチをパッと擦れば全部が見える・小さな光でもこの世を救う.....	22

水源禪師法話

「五蘊照見」」「受、想、行、識」そして「パンニャ・智慧」

瞑想の基本的な心得を言いたいと思います。まず頭で考えないという事です。ただ、例えばアーナーパーナ (ānāpāna-sati: 入出息念) する人はアーナーパーナだけ。一切考えない、ただそこに。もし丹田でお腹を観る人は、「お腹を膨らんだ、縮むただそれだけ。何故かと言ったら、私達は夢を沢山見ます。また普段ただボーッとしても、何故か突然公園をフラフラッと歩いたり、花を見たり。それから匂いがすればそこで団子を食べたりとか。それは全てね、深層の阿頼耶識 (アーラヤ識) の波の波動が、この意識の頭に来て頭で考えていると、皆さん思っているけれども、実際はそうではないのです。全て無意識界が意識界にこう、到達して、普通は無意識界は殆ど観る事が出来ません。

ところが、こういう風に瞑想をずうっとしていけば、深層世界の無意識界と意識界が、段々明快に観てきます。そして無意識界のその凶暴な嵐とか、波が観えます。それが意識界に発展して「自分だと思うわけです。それを「我(われ)」「我(が)」「自我」。ここで大変な「無我、無我と言うのは、この自我というのは自我では無いわけなのです。無意識界の事が、ここの頭のパネルに、ジャンクション・ボックス(接続箱)でね、これで皆行動していると思いますけれども、実は違うわけなのです。

それで「五蘊照見というのは結局、眼、耳、鼻、舌、身、これ(色)が全部「意に伝達して受想行識という事」になるわけです。

それで「受想行識という事は一体どういう事かという事を、昨日ちょっとパーリ語で言ったけれども、それではちょっと分らないから、もっと日本語の優しい言葉で説明しますね。そこをしっかりと基本が分ればもっとやり易いではないかなと思って。

それでまず、実にここはどの経典でも書かれて説明しているのですけれど、つまりパッサ (phassa: 触) と言うのは、こう見るでしょう？コンタクト。パッと「鳥が飛んでいる

と、パッと眼に入ってきて来たと。そしてそれをヴェーダナー (vedanā: 受) と言います。ヴェーダナ、「あ、鳥が飛んでいると、「気持ちが良いとか、「綺麗な鳥だなとかそういうフィーリングが発生します。

そしてサンニャー (sañña: 想)。それはもう心で体験しているから、それが深層の情報源で「これは美しい良い鳥とか、そういうバイブレーションと考えが発生して来ます。考えというのは殆ど無いわけ。全て現象がそういうインプットで、ON・OFF とかバイブレーションとかね、そういう事でインフォメーションが心の中にあります。それを波立つとか、そういう事を言うわけなのです。

それでその後で「受と言うのは、このフィーリング、ヴェーダナ。パッサが外れてコンタクト、受、想 (sañña: サンニャー)、それからサンニャーが想になります、受、想。

そして心の中でチェータナー (cetanā: 意思) というのは、ボリション (volition: 意思) というのは、タタタタと解析する事を行 (サンカーラ: saṅkhāra)、そこを観音様が「行深という、行を深く観たと、チェータナー。

だから受、想、行、識(ヴィニャーナ:viññāṇa)と言うのは、最後の深層世界でそれをしっかり受け止めるという事で、その間に結局、ワン・ポインテッドネス(one pointedness 一心)とか1つ、スーッと集中してその鳥を見ると。そしてそれが結局心の活性化、命の本源に係わって来ます。だから「恐ろしいとか、「気持ちが良いとか、それが実際に生きているその心の状態に発生して、身体に発生して来ます。

それをただ「受、想、行、識と、識で表していますけれど、その後にまた詳しく分解して、行列式でダーッと出て来ます。それは全部観えます。それで、最後に完全に正確に観た時に「あ、これは綺麗な鳥で飛んで行く」というその知識が、心の中にボンと落ちると。これをパニャー(pañña:智慧)。または「鳥という認識。ま、そういう事になります。

無量の過去世の情報の阿頼耶識を綺麗に整理する為に、今、瞑想している

それで、これがずうっと良い情報が積み重なって行って、ただただそういう自然の叡智をドンドンドンドン吸収して行けば、素直に悟りを開くのも、過去の色々な因果関係の情報で、それがそう見えなくて「ああ、あの鳥食べたいと。「焼き鳥食べたいと「どうして取ろうかと、そういう方向に走ってパニャーにならないわけです。だから全ては、無量の過去世の情報の阿頼耶識(アーラヤ識)、「阿頼耶意識に全部入っているわけです。それを綺麗に整理する為に、今度皆さんが今瞑想して、間違っても深い穴に落ちない様になるわけです。

と言うのは、私は競馬の馬券を買って「当たる当たらない。当たったら嬉しいと。そういう娯楽は良いのだけれども、全然悪くない。ところが、それにつられてドンドンドンドン自分で稼いだ以上の、「私の小遣いは、奥さんから千円貰ったのに、一万円使った

と。「これ穴開けた、どうしよう」となるわけだ。そこを千円で止めればね、娯楽だからそれで OK。それが悪い、ところが止められないわけ。飲みに行ってもついつい 1 杯が 2 杯、2 杯が 3 杯、10 杯になって「お、付け。2 万円どうしてこれ払おう。奥さんに怒られると、「食事代が出ないと。ところが、まあ 1 杯 100 円、200 円。「800 円のお釣りがまだあると、そうしたら「まあ怒られるわけもないし、また団子でも食べて帰ると。これは OK なわけ。その深層世界によって、昔の意識によって、ついついつられて、1 杯が 2 杯、2 杯が 3 杯で、今度「ウワーッと無意識にもう暴れ出してみたり、「楽しい！」と言って裸になって踊ってみたりとか、そうなるから。娯楽として 1 杯、2 杯は良いわけ。

だから有名な話はね、「1 杯人は酒を飲み、2 杯酒酒を飲み、3 杯酒人を飲み」となるわけです。だから 1 杯で辞めれば身体に良い百薬の長というお酒になるけれども。それを毎日 10 杯やればね、これは猛毒になって大変な事になると、まあ 1 杯あたりで薬として飲めば、もう最高で娯楽で。という事をこういう瞑想でね、ずうっとやれば、これが 1 杯で終わるか 2 杯で終わるか 3 杯で終わるかという事が綺麗に観えるから。そこでストップがかかるか辞めるか。今日は同窓会で、たまに 10 年に 1 回だからワーツとやって、「ま、3 杯で辞めておこうと。酒、酒を飲みで。それが 10 杯になればおかしくなる(笑)。という事で「まあ 1 杯あたりだったら寂しいと、2 杯酒飲み、いやあもう 3 杯酒

飲み」、ここでストップ。そうしたら殆ど問題無い。後はタクシーで帰ると。

ただただ一つの教科だけ、それが十分完成したらそれが又大事な踏み台になる

そういう心得でね、それでただただ一つの教科だけ、例えば花は花だけ、そこ。それでそこを完成してから次に進みます。その間とても飽きるから、4つの瞑想法を教えたでしょう。それを時々やってみると。それで十分完成したら、今度ヴェーダナに入っていくと。ヴェーダナに直接入れる人もいます。過去の因縁によって、もうそれだけの力を持って自然と出来る人もいますが、殆どはこの世の中見ても、1億3千万の中で本当に瞑想に出会えると言うのは、滅多にいないわけです、こういう風に。全て奇跡的な因縁で皆さんがここに来ているわけであって。まあ題目は良いけれども、映画を100回見ても、それはその人の体験であって、あなたの体験ではないわけです。ここはあなたが実際に体験する劇場で、あなたが実際にやらなきゃいけないという。演技しなければいけないと。という事で、全然次元が違うわけです。

そのプロ野球でイチローさんが「おお打った、打った」と、「自分が打ったのだ！」というのではなく、イチローさんが打った。あなたではないのよ(笑)。もう彼と自分がもう混同してしまうわけです。という事で、「あなたがプロ野球で打たなければいけない

というのが禅なのです。「白鵬さんが優勝した！凄い、凄い！」と。白鵬さんであってあなたではない。「白鵬、私だ！」となるからおかしな事になるわけです。

まあ、そういう事で大体分かりました？だから気楽に、気楽に。時間が掛かります。私も先生から教えて貰って、昔はやっぱり最初の門に到達するには10年掛かりました。ゆっくりゆっくり。それで、この10年今掛かってても、それは無駄ではないわけです。次の世界に持って行けてこれがまた大事な踏み台になります。ところがここで辞めてしまえば、結局元の木阿弥で、また何時の日にか法に出逢えるかという事で。だから、一大事なのです。一番大事な事、一大事。

だからこの一大事を殆どの人が、魔によってめくらにされて見えないで死んで行きます。地位、名誉、勲章。幾ら勲章を付けたってそれは次の世には持っていけないわけです。ところがダンマ(法)は、次の世に持って行けると。持って行けます。私の体験上。お釈迦さまもそうして私達に、ダンマを教えてくださいました。ダンマはこの宇宙の最高の宝です。栄華。『得阿耨多羅三藐三菩提』、これがダンマ。だからダンマは、小さくてもダンマ、大きくてもダンマ。だからダンマはダンマ。

ま、そういう事で、小さいダンマでも良いわけなのです。それで、こうして皆さんが一緒にこうして座るでしょう。これが本当のダンマ。だから皆さんはもはやダンマを持っているわけ、体験を持っている。だから「これは凄い宇宙の宝を、もはや皆さんが手に入れたのと一緒にだという事を何回も言っているのは、この事なのです。



高原 3000 メートルのマラカトー町よりの山、ロハ州、エクアドル

慈悲のカケラの一つもないデーヴァダッタは今に始まった事ではない

今日も1日、夕方になって、何とか瞑想もされて。やっぱり瞑想がね、上手く行くとかそれから上手く行かないというよりも、やっぱり「したという事が大切です。もちろん瞑想が上手く行けば気持ちがとても良いけれど、そうではなくても「したという事自体が非常に大切です。特にこうして何回も、こういう風に皆さんと一緒に瞑想するという事が、とても大事な事。まあ色々なテクニックとか、色んな事がありますけれども、私達には考えられないのがこの世の仕組みで。想像も出来ないのがこの世の仕組みなのです。

この話はですね、お釈迦さまが、祇園精舎で修行されている時に、その瞑想道場の中で、比丘達が色々お話していたのです。「デーヴァダッタ尊者は、非常に心も無く、思いやりも無く、実に非道な人であると。「全く人の事も顧みず、非常に残酷な事をする人だ」という話をしていたわけですね。でも彼は人を説くのが非常に上手でね、デーヴァダッタの十法と言って、「比丘は貧しく暮らすべしと、「比丘は肉を食べるべきではないと。でもやっている事は、もう少しの愛のかけらも、それから人が可哀そうだという事はなくて、非常に人をいじめるのが大好きだったわけです。

それでそこにお釈迦さまがスーッと通って来て「君達は、一体何のお話をしているのかと。そうしたら「いや実はデーヴァダッタ長老は非常に残酷で、愛のカケラが少しも無い、慈悲のカケラが一つも無い、とても残酷な事をする人です」と、「そうか」と、「これは今始まった事では無い」と。

「その昔、私が八万頭の象さんを連れて歩いていた時に、その時の私はちょうど 60 歳だった」と、象として。それで歩いていたら、その野原の森にウズラの小さい雛がちょうど卵から孵って、飛べないわけですね。ところがそのお母さんウズラがね、その象さんがずうっとやって来るものだから、とてもびっくりして、ゴータマ菩薩の象さんにね、「実は今、私の雛が孵って飛べません」と「どうか私の雛を、子供を潰さないで下さい」と、そうお願いしたわけです。こう手を広げて。

そうしたら、象さんがね「ああ、良し分った」と「心配するな」と。「お前の子供をちゃんと象さんに踏まれない様に、ずうっと守ってやる」と。そして自分の八万頭の連れてくる象が全部そこを通る時に、その前にちゃんと頑張って、間違って踏まない様に通したわけ。

そして通った後に「実はこれから一匹の凶暴な象が、ここにやって来る」と。「しっかりその象にお願いして、踏まない様にしなさい」と。それで「はい、分かりました」と言って、このお母さんウズラがね、そこに飛んで行って、こう言ったわけ「象さん、象さん私は今、小さい卵から孵った雛鳥がおります。どうか踏まないで下さい。」と。

「そうか、私はお前の雛鳥を足で踏みつけて殺してやる」と。そして足蹴にして、その雛鳥を粉々にして、無残にも殺したのです。「私は、この様に数えきれないくらい何万という鳥を殺して来た」と。象さんは湿地帯が好きなのですね、大体。水と草が多いそういうところでいつも草を食べているから。それで、水をかけながら、サーッと行ったのです。

そうしたらそのお母さんが「良し」と。「私はとてもか弱くて小さくて力が無いけれども、お前に災いを与えてやる」と。「しっかりと大変な危害が起こる事を、絶対にこれから私は実行する」と。

そういう事で、まずウズラさんが、カラスさんの所に行ったのです。「カラスさん、カラスさん。実はこうこうで、とっても悔しいです」と。「どうかその象さんの眼を突っついて、二つ眼を取って下さい」と。「あ、そうか」と「よし、分った」と。「やってあげよう」。その後ね、ちょうどハエがいるわけですね。そのミドリバエと言うか、野原に良くいる光る様な。そこに行って「ハエさん、ハエさん。どうかその凶暴な象をどうかやつけたいのです」と。「それであなたの卵を一杯象さんに産み付けて下さい」と。「ああ、よしよし。分りました」と「それはそうでしょう」と。「ウズラさんの子供が殺されてそれは悔しいでしょう」と。

それで、その後今度はカエルさんの所に行って「カエルさん、カエルさん、実はこうこうでとても悔しいのです」と。「それで、どうもこの仇を取りたい」と。「私の子供を殺されて。この象さんはとっても慈悲も何も無くて本当に凶暴な象さんで。それでどうかこの眼ぐらの象さんが来たら、あなたは山の上に上がって、ケロッケロッケロツと言って下さい」と。「はい、はい分りました」と。「そしてもし象さんが、山に上がったなら今度は谷の下でケロッケロッケロツと鳴いて下さい」と。「よしよし分った」と。

そういう事で、そのカラスさんは時期を待って、やっぱりこの凶暴な象が、ドッコドッコとまあ1人で歩いているわけですね。とっても意地悪だから、象の仲間にも入れないわけです。何時でも悪い事ばかりする、乱暴な事をするから。それでカラスさんが様子を見て、その機会をみて、飛んで行ってミサイルみたいにポーンと眼を突いてくり抜いたのです。それで、またもう一つ眼をくり抜くポーンと。それでめくらになって。

それでもう全く見えないし、何処に水があるか分らないし、それで喉の渇きが激しくてもう狂った様にあっちこっち歩いていたのです。そうしたら、「ケロッケロッケロツとカエルさんの音がする。歌声がとっても大きい声で。それでそのカエルの鳴いている所にドンドンドンドン近付いて、ちょうど山のとっぺんに上がって行くわけですね。山のとっぺんに上がった時にカエルさんがスーッと降りて行って、今度谷の下からケロッケロッケロツと鳴くのです。その音を聞いて、谷の上からまっしぐらに落ちて行った。

それで死んだのだけれど、その前に結局目をくり抜いて、もう喉が渇いて歩いている時に、丁度ハエがね、その身体に卵を植え付けて、いっぱい落として、それがウジ虫になって身体をこう食いちぎっている。もう痛くて痛くて仕方がないし、喉は渇くしと。そういうところでちょうどカエルさんが「ケロッケロッケロツと鳴いて、それでもう一目散に山に上がって行って。今度はカエルさんが谷に行ったから、その音を聞いて真っ逆さまに山から落ちて死んでしまったわけです。それで、その小っちゃいウズラが、「それ見た事かと。私はとても身体が小っちゃくて弱くても、お前はこういう目に合ったのだよ」という風に「幾ら弱くても、弱い者同志が力を合わせればこうなりますと。

という8万頭の象を連れた象さんが、実はゴータマ菩薩で、それで凶暴な象さんがデーヴァダッタだった。

ヒナ鳥を必死に守ろうとする親鳥と他の鳥達、そして恩義も忘れない

私もある日、自分の部屋で寝ている時に、外でけたたましく鳥がいっぱい鳴くのです。後ろの電線に止まって、ダーッと一列になって。鳩もいれば沢山の色んな種類がもう激しく鳴くわけ。「何だろう？」と思ったら、私のワンコちゃんがね、何か飛び跳ねているわけ「ボンボンボンボン」と。そうしたら見たら、小っちゃいカーディナルという鳥の赤ちゃんが2匹そこに居ったわけ。私の犬はね、殺す事を知らないから、何かボンボン跳ねているけれど、上の方ではもう小鳥がもう騒ぎ立てて「ピッピッピッピッピ」と。「あらまあ、これは大変だと、それで外にすぐに出て行って、やっぱり野生の鳥はね、人間が触ったら匂いがついて、親も餌をくれなくなったら死ぬでしょう。それで棒を出して、藪に連れて行ったわけなのです。そしてね、その後それを見た鳥が、皆安心してスーッと去って行った。全く違う種類の鳥ですよ。

という風に私達は、鳥は他の鳥の命なんて関係無いとか、鳥同士が助け合うわけが無いと。それで親鳥は、私のワンコちゃんの前を命を掛けて飛ぶわけですよ。サーッと、サーッと「近づくなと。それでワンコちゃん知らないものだから、殺す事を知らないでしょう。餌ばかり食べているので。どうして良いか分からないけれども、「ボンボンボンボン跳ねて。鳥達はもう気が気ではない。親鳥も必死で、もう子供が殺されるという事で守っている。それでその後藪に返して暫くして、それでお父さん鳥がね。カーディナルってとっても綺麗な歌声なのです。まあ赤い朱色の羽根でね、それで後ろ羽根が頭の後ろがポーンと立って、それでとっても美しい声で鳴きます、何時も。そうしたら家の電柱でもう4、5年「ありがとう、ありがとう」と歌っていたよ。本当に歌っていた。



クアランプールの動物園、マレーシア。

本当に生きる事に偉いのは動物達、劣化しているのは私達、人間

だから、今こういう風に「象さんの話、お釈迦さまの話、これ本当にお伽話でという事だけれども、実際に動物達でもそういう風に助け合うし、分かるわけなのです。私達は言葉を話すのだけが分かる事であって、「動物は会話も何も出来ないと。そうでは無い。動物は言葉なんて無駄な事は使わない。テレパシーで全部会話をします。だから犬を見て下さい、犬はもう遠く離れて 50m 先では、もう気違いみたいに騒ぎます。テレパシーで喧嘩しているわけ、ダーッと、「ワンワンとあっちで。そういう私達は非常に劣化しているから、見て話して始めて分かるけれども、そういう動物達はもう瞬間的に分かる、ダンダンダンともうスーパーコンピューターみたいに。

私達は、この世で一番発達した生命体だから、でも全然分らない。だからアチェ地震と言ってね、インドネシアで巨大な地震が起きた時に、津波が来るのをね「ああ、波が来た」と海岸に見に行くわけです、人が。それでその波が押し寄せる時に「何と素晴らしい波が来るのだらうとパラソルを立てて、それでその下でピクニックテーブルで、プラスチックの白いピクニックチェアでワイン飲んで(笑)。

ところが1時間半前に、象さんはその側の象さんが、見せ場の象さんが鎖を付けられて何か見世物みたいに居る象さんが、気違いみたいに鎖を食いちぎるか引っばって、もうその飼い主がびっくりして引き止めようとしているわけね。それで1時間半前に、もう気違いみたいに山に上がって逃げて行ったわけ。

ところが人間はね「ああ素晴らしい波が来るなあ。青い海の青い空の下でパラソル立てて、ピクニックテーブルとピクニックチェアで、ワイン・ビヤ乗せてワインカップ二人でこう飲んで。(波が)ゾーッと来る、ゾーッと来て、それでもギョーッと何も動かない。素晴らしいホリデイ・タイム(笑)。本当ですよ。私見ました、テレビで。

それで、波がザーッと来てから、初めて分かる。それでこう2階に逃げようとしても、波が凄く早いのですね、一旦来たら。もう殆どそれで全滅。ところが動物の象さんとか、そういう犬とか、もうとっくの先に逃げてしまう、山に入って。私達はハンド・フーン(携帯電話)も使うし、飛行機も飛ぶし、宇宙にロケットは上げるし、科学は何でも知っているわけですね。象さんの方が偉いのか、人間の方が偉いのか、本当の生きる事に置いて、どう思います？滅茶苦茶でしょう。滅茶苦茶でしょう。だから私達は殺し合いをやるでもこの不完全なお陰で、結局心の進化があるわけ。これが完全な場合は出来ないわけ。

それでお釈迦さまは、結局8万頭の象の群れを連れて歩く大将で、何時も良い事をしているわけ。ところがこのデーヴァダッタは、何時でも悪い事をして何とか因縁でくっ付いて歩く一人で。それで最後は無残な死を遂げるわけ、そういう風に。何時も滅茶苦茶に最後は生きている時でも、悪い事悪い事起こりながらも、お釈迦さまの側で何時でもくっ付いて歩くから。最後地獄に落ちるまで、何時でもくっ付いて歩いて、預流果まで行くのだけれど、最後にはもう落ちてしまうわけ。お釈迦さまを殺そうとして。

まあこういう風に、私達がこうして良き仲間と一緒に瞑想が出来るという事は、本当に凄い事なのです。だからそのアチェ地震で、30万人ですよ、30万人死んだ。それでスリランカでもお坊さんが言っていたけれど、もう波がボアーッと寄せて来て、列車も何ももう波に押されて打ち上げられて。アチェと言ったらインドネシア。その波がね、スリラン

カの方、それからタイランドの観光地、ザーツともう、30万人の人が死んだ。

三陸沖は3万人でしたかね。2万人の人は、助かることを山に逃げてそれでまた海に戻って死んで行ったわけ。それで3万人。それが何故海に戻ったかと言えば、東北大学の教授が、ハンドフォンを解析して、どうなったかという電波の情報を調べたら、その情報では山に上がったわけ、殆ど。後で「良いだろうなあ」と降りて行って、2万人がまた死んだと。

それで何か不思議な映像を見たけれど、本当か嘘か。何か波が来る時にね、土煙を上げてダーツと走る動物みたいなのが居るのですね。ダーツと波の前を、激しい勢いで。ところが三陸沖の時ね、もう沢山の人が車を運転して車の中で往生して、そのまま波にのまれて行くわけですね。そういうセルフオンを持っていながら、それを聞きながらまた海に入っていくわけです。だから役立たずなわけですね。役立たない。それで動物はそういうセルフオンも何も無いけれども、山にまっしぐらに逃げて行く。言葉は話せない、でもサイキックで直ぐ分かるのです。だから私達が劣化している頭か、動物達はまだ劣化していないで正常なのか。やっぱり動物達の方がまだ正常だと思う。何も無くても自分の命を守る事が出来るからです。

強い国が弱い国をいじめている因果は大きい、正しい国は必ず返り咲く

で、また動物もさっき、今お話した様に、ウズラのお母さんでも自分の子供が死ぬのは可哀そうなわけ。それで「辞めて下さい」と。「いやいや、殺してやる」と言って、そんな横暴な事をしてやっぱりその恨みというのは凄いもので。でもちゃんと「辞めて下さい」と言ってもやったから、因果関係はこの象さんがとっても悪い。仇討は良くないけれども、やっぱりそうされても仕方がない状態ですね。

だから今過去400、500年、力の強い帝国が弱い国をドンドン苛めているけれども、その因果は大きいと思いますよ。特に今のアメリカを見ていたら、想像を絶する化学兵器と火力を持って、それで殆ど力が無い国を苛めているでしょう。ニカラグアとか南米を全部苛めて。それでその後、また今、中近東。ドンドン苛めて。結局そんなに苛めてもね、結果的には今の象さんが凶暴なみたいに、哀れな運命になります。

正しくやっている国は、因果関係で必ず返り咲きます。でも人間はね、さっき言った様におかしいから、本当におかしな生き物で良い帝国をまた自分達で潰してみたり。逆に悪いそういう国をドンドン応援して、他の国をやっつけてみたり、そういう事をするわけです。

お釈迦様は動物になっても先生になっても未来を予測し、いつも良い事をする

それで、お釈迦さまが、ある時ブラフミン(バラモン)の家に生まれてね、偉い先生になったわけです。その時にその王様の息子のプリンスを、一生懸命教えていたのです。そしてお釈迦さまは、その時のゴータマ菩薩は、「いやあ、このプリンスは将来大変な災いに出会う」と。「今生まれたこの子供に殺される事になるだろう」という事が分った

のです。

それでゴータマ菩薩が死ぬ前にちゃんと絵本で、馬が非常に足を痛めて腫れているところがあると。そしてその腫れているところを馬小屋のネズミが来てかじると。かじっているチョコチョコ。とっても痛いから、この馬がネズミを蹴って殺したと。ところがその馬小屋の馬を世話する人は「ネズミがいないからどうしたのかな？」と。この王子様にそういう絵本を見せて、この王子様は将来必ず王様になるという事が分って。

それでこう言ったわけ「君が王様になったら、この歌は忘れない様に」と。「もし風呂に入りに行く時には、必ず風呂の階段の前でこの歌を歌なさい」と。「風呂のそのプールの上を端まで歩きますと。「階段の途中まで行ったら、同じ歌を歌いなさい」と。「そして最後の浴場のプールに上がったら、またこの歌を歌いなさい」とそう言ったのです。「私は風呂に入る前に、この浴場の端から端まで歩きます」と。それでその時王様になった時は、まだ年が若て、またその子供がいるわけです。

子供が16歳になった時に「私のお父さんが死ぬまで王様をやった場合には、私もヨボヨボでとてもではないけれど、王様のそういう楽しい思いをするのは出来ない」と。そして王様が「今国境の辺境でテロリストがいるから退治して来い」と。そうしたらその若い王子の家来が「いやいや王子様、それより王様を殺した方が、殺して天下を取った方がこんな苦労する事はないですよ」と。家来も戦争に行って命を落とすよりは、王様を殺してドッキリとノウノウと暮らしたいと。

それでその王子がね「いやあ、それは良い考えだ」と「父親を殺そうという計画にしました。それで隙あらば、王様を殺そうとしたわけです。それでどうも隙が見えなくて、それでどうとうムスカという女の召使が居るわけですね。王様が入る様に風呂場を綺麗に洗って、支度するのです。

それで王様が「今日は風呂を浴びたい」と。それでその召使が、綺麗にしている時に、その新しく王様になった王子に殺されてしまうのです。その浴槽の一番端っこに召使の死体を捨てたのです。そしてその王子が、王様が風呂に浴びに来るのをジッと待っていたわけです。

その時王様は、ゴータマブッダよりこの歌を歌いなさいと。それで「浴槽に上がったらその端から端まで歩きますという事を3回覚えていて、歌ってその通りにして端から端まで歩いたわけ。そうしたら何とこのムスカという宮廷のメイドが、殺されてそこに居った。それで王様が、王子を捕まえて「お前、これは一体どうした事か」と。それで、もう逃げ切れないから、「いやーお父さん、悪かった。私は間違って、この宮廷の召使を殺してしまいました」と。

それでその王様は、たった一人の息子だし、国を守らなければいけないし。それでゴータマ菩薩が「その子が王子になって悪い事をしたら、あなたが死ぬまでちゃんと牢屋に入れて鎖を付けておきなさい」と。それで王様はちゃんと覚えているから、ゴータマ菩薩の言葉を。それで命は取らなかったわけ。

そのゴータマ菩薩様の言う通り、鎖を付けて牢獄に入れて、彼が死んだ後、この王子が王様になったわけです。それで国は安泰して、王も自分の子供を殺さなくて済んだわけです。子供が親を殺してもダメだけれども、親が子供を殺してもダメ。だからそうして救ってあげたわけです。まあ因縁は殺そうとしたのだけれど、それを解消してあげ

たわけ。

という風にお釈迦さま位のレベルになれば、何時の世でも良い事はするのですね。だから動物になっても良い事をするし、また先生になってもちゃんと未来を観て、こうなるからと予測して、「こういう事があるから、そういう時は殺さないでちゃんと牢屋に入れておきなさい」と。それで「あなたが死んだ後は、王様にしなさい」と。そうでなければ国が荒れてしまうのですよ。

無残な帝国は寿命が短い

一番良い例がインドあるでしょう。インドのタージ・マハル、凄いでしょ？綺麗で。ところがあれを建てた後、息子が王様を幽閉して殺してしまう。何故かと言ったら、結局そういう非常に何と言うのかな、狂った様な魔の様な事をしなければ、国を治められないから、そういうしきたりがあるみたいで。

特にオスマントルコ、あるでしょう。あの帝国は、子供達を戦わせてそれで生き残った者だけが王座に付けるわけです。だから息子を全部戦わせるわけ。これはオスマントルコではなく、中国のある時期も同じ事が発生して。そういう無残な帝国は、寿命が短い。政権が非常に短い。だからオスマントルコが、シンジャン(新疆)、トルファンから強力なそのトルコの歌を歌いながら攻め入って、ビザンティン東ローマ帝国を倒したわけですね。その高さが30mという城壁で厚さも10mで、絶対に難航不落な所を、今度は大砲を持って行って、ボンボンボンボンボンと城壁が崩れてそれで攻め入って取ったわけです。それが1400年代辺りかな？その辺りに攻め入って。

それでもまたそういう風に強烈な、そういう風なその軍政を引いても、やっぱり寿命は短くて、アラビアのローレンスと言って、全部今度は独立して、今はサウジアラビア、イエメン、カタールとか、ドバイとか、ペルシア、シリア、リビア、皆戦争しています。あれは全部オスマントルコの帝国の一員。だから幾ら独立した後でも、そういう風な慈悲の無い政権を取った場合には寿命も短いし、幾ら良い事を言ってもまた悲劇が今発生して、他所の国から惨憺たる目にあっているわけです。

だから中国の歴史は如何に民衆を安定させて治めるか、というちょっと手法が違うわけですよ。軍政で強烈ではなく、農民を如何に生かして国を安定させるかという事が、正しく治めると。もしそれをやらなかったら、農民一揆とか、何とかの乱とか言って、何時も国が荒れるのです。抑えきれないわけです。

ま、そういう話で今日は、ちょっとあんまり硬い硬いアビダンマの話とか、修行の方針よりも如何にして人間は生きるべきかと。またどういう国であるべきかと、社会。その中でこういう心持で、心を進化させて、こういう方向で行けば良いけれど。何時の世でも「獲物がいたら取って食べようと。人間社会でもね、金があつたら必ずや狙いに来るわけ。それがちょっと金があればね、何年でもしつこくその隙を狙うわけです。時には結婚させて嫁さんを送り込んで全部名義変更して、そのお寺を乗っ取るという事が、日本中であちこちであります。だから金持ち程、今はどういう風にして結婚させたものかと、頭の痛い問題で。金が無ければもう大丈夫。何も無いから取られない(笑)。私が言っ

たのは全部本当の話ですよ。作り話の様にに見えるけれど、これ実際に起こっているわけです。



千葉、護摩炊き道場。

質疑応答

モンキーマインドを鎮めて、静かに心をずうっと観るには・・・

【参加者】

今朝、阿頼耶識と、本当は意識のあれで、阿頼耶識が過去の情報だったり。

【水源師】

はい、全部入っていますね、その中に。

【参加者】

その荒波というか、そういうのが意識の方に反映して頭の中に色々な考えが浮かぶと言うか、そういう風に反映されるというお話をされていたのですが、自分がこう瞑想

して行く中で、いろんなモンキーマインドと言うか、いろんな事が次から次に、イメージだったり。「瞑想の中で、考えずにやって下さいと仰っているのですが、そういういろんな何時始まったか分からない様なストーリーが頭の中に展開したり、気が付いたらいろんな事を想像しているのですが。対処というか、その辺をちょっと教えて頂きたいなと思います。

【水源師】

やっぱり、瞑想を深くしていた場合には、心が良く静まるから、無意識の深層界とこの意識界がこう反応し合っているのが、普通は分からないわけです。ただ胸騒ぎするとか、何か良い事があるみたいな。そしてちょっと瞑想した場合には、さっき言った様ないろんなイメージが出て来るし、特に夢があるでしょう、夢。夢はいろんな世界と繋がって、結局この心の中には宇宙よりも大きな時空とか体験があるから。だから何でも出て来てしまうのです。

それでニミッタを使えばね、こう1時間くらいの力があれば、そのニミッタの力で、ニミッタが発生すればジャーナに近くなりますので、それで心が静まるから自分の過去が観えます。それから未来も観えます。という風に情報がちゃんと入っています。だから普段そういう風に正式な瞑想法を教わって無い場合は、そういう風にいろんなアイディアとかが入って来るでしょう。という風なつまり訓練の時間が無かったから。だから今からちゃんとやって行けば、そういうものが段々消えて行きます。

ただ何も考えないで、ただその空間の中に座っているのだけれども、それは決して楽しい時間では無いですよ。最初は本当にもう味気の無い、何で座っているのかな？と。その内それがとても良い時間帯になって来るわけです。心が動かないで、安定する時間帯で、そういう事が好きになって来るわけです。その前はね、ドンチャカドンチャカとか、しょっちゅうその音楽聞いたり、踊ったりそういう事で心が動いているものだから。そういう世界はもう忌み嫌って、静かな所を「バカかそんな山奥とか、「そんな何にも無い何の味気も無い」と。

ところがそういう風に心を何時でもジャンピングして遊んで、ガーッと行っていたら、その内ブツンと切られて頭がおかしくなる、殆ど。それを抑えられない為に、お酒に走ったりいろんな事をして、もっと激しい刺激を求めて行くわけですね。止めどもなく、それでその内に特に暗き方向に走ったら大変ですよ。それこそ魔の世界に入っていくから。結局小っちゃい子供が何時でも飛んで跳ねて走って回っていたら、そのうちゴーンとぶつかるでしょう。それと一緒にです。

ところが小っちゃい子供でも、お父さんお母さんから「そんなに走っちゃダメ。何時も走っちゃダメですよ、ちゃんと道路を見ながらゆっくりゆっくり歩きなさい」というのが、今言った「本当の眼で見なさいと言うわけなのです。でなければ車がバンバンと通った、「ああ通った、何時でもクルクルクルクルしたら、そのうちドカーンとやられて、大変な事になる。そういう事で良いでしょうか？

【参加者】

はい。では心が静まった状態になると、どう言うのですか、いろんな出て来るイメージ

とかそういうものと言うのは？

【水源師】

段々消えて行って、本来の自分の姿に帰って行くわけです。ゆっくりと、ゆっくりと。それが無ければ、結局波の荒れた状態が正常だと思って、何時でも波が荒れてなければ、その気が落ち着かないわけです。ところがそれでドンドンドン年齢が達して60、70になったら、逆にもう身体が持たない。それで殆ど病気になってしまう。

【参加者】

座っている時に荒れた波の様な色んなイメージが出て置いておくという事？そこに戻ったり、引っ張らないで。

【水源師】

そう、そう。引っ張らないで、やっぱり静かな静寂の事を今から体験しておけば、私の年齢になればね、一番好きなのは、静寂の時間帯。身体がもうドンドン劣化して行くでしょう。それに付いて行くのがとても疲れるわけです。ところが私が若い時から、静寂の味わいをしているものだから、結局「ああやっぱり座ってて良かったなあ」と。何もしなくても幸せだし、身体も悪くないし。散歩に行ったらクルッと帰って来て。食べる物も好きな美味しい物を食べられて。薬も一つも飲まなくても良いから、身体が何時でも少し働けばね、何でもとっても美味しく食べられるし。

ところが同僚なんかはもう大変。殆ど病院通って動けない。足も動けないし、もう食べる物も口に入らないようです。そういう肉体がもう反応出来ない様になってしまう。ところが若い時はもう良い人ですよ。でも世の波に押されて一生懸命遊んでいた。遊んでいたと言うのは、あっちに行ったり、こっちに行ったり、「楽しいな、楽しいな」と。ところが身体が付いて行かない。まあ、お金は別として、体が付いて行かない。だから若い時はね、もう静かにするのが本当に苦しくてバカらしくて、「何だ、この石ころみたいに座ってとか「何もしないで」と。ところが、若い時は良いですよ。若い時1m、2mジャンプしても、何とも無いし、3、4日徹夜しても何とも無いと。

ところが今は私がやったら骨が折れるか、そんなに働けば病院に行くかと。もう静寂の時間で、静かに心をずうっと観る方が余程楽しいわけです。それで深く宇宙の事も観えるし、静かにしているから。いろんな現象とか、秘密も分るし。それでそういう事で何か人に奉仕も出来るし、いろんな事で。だから心爽やかにね、ぐっすり眠れます。一番の大問題は、私の年齢になったらね、眠れないのですよ、殆ど。殆ど眠れない、薬漬けか何か。精神修養している人は別としてね。殆どダメですよ。もう薬漬けで。何時でも心がソワソワソワソワして。で無理にお酒飲むか、何かしなければ、何かに集中しなければ。身体が動くうちは良いですよ。

その一番辛いのは、人間ただジッと座るという事、ところがそのジッと座るのが楽しいとなったら、これはもう大したもの。もう年取っても悠然と暮らして行ける。本当にだんだん億劫になって来る、だんだん。もう2、3年前はお散歩するのが大好きで、今は「今日は辞めておこうかな」と。でも家でジッと座ったら胃腸がおかしくなるから、それで

やっぱりグーッと2、3キロ歩くでしょう。そうしたら活性化してね、それで食べ物も美味しいし「やっぱり歩いて良かったなと。ところがそういう風に身体を動かさなければ、特に私の年齢になったら、急激にやられると思う。

ところがついでに、誰も監視しないしね、自由自在でしょう、隠居してしまっているから。だからそこがまた落とし穴で。だから年を取っても働くと、逆に長生きするかも知らない。悪いけれど。でもこの年になったら、何にもしたくない。何にもしたくない。ただ家でジーンとしてね、箸も動かすのも嫌だけど、やっぱり庭いじりをしたり、何とかところ自然の中で生きていたらそこから命を貰うからね。やっぱりそういう事で生かされているという事です。

不動明王の火で魔や邪気を払う

【参加者】

ヴェーダナで人にした時に、邪気を受けるかもしれないので、そういう時は「火に入ると良いですよとチラッと仰った様に思うのですが、それはどういう事なのでしょうか？

【水源師】

火のイメージの中に入れば良いという事だと思いますよ。火の中に入ったら燃えちゃうから。特に不動明王の火の中に入っていけば、イメージとして。そうしたらその力で全部邪気を飛ばしてしまうはずと言ったと思うのだけど。

【参加者】

ちらっと仰っただけなので。

【水源師】

あれ？何の火かなと。それは燃える火の中ではないですね。そういう不動明王の火とかね、そういう聖者の火をイメージして、その中に入っていけば、そういう魔とか邪が燃え尽きて、あなたを襲わないという事だと思います。

【参加者】

分かりました。有難うございました。

非常事態に備えて、最低 水、マッチ、ローソク、新聞紙、ごみ袋 etc. . . .

【参加者】

私が見聞きしています情報の中で、第3次世界大戦は何時起こってもおかしくないであるとか、アメリカのそういう借金をチャラにするためにスーパーインフレが起こるであるとか。あるいは日本でそういう天変地異とか災害が起こって、日本はとんでもない状況になって、スーパーインフレは良いのですけれども、要は食糧が無くなるという。日本でかなりの人が食糧問題で餓死する人が出るというお話を、私が普段聞いている情報の中でそういう事があるのですね。そういうのにやっぱり備えた方が良いのか、備蓄したりとか…。

【水源師】

だから去年私が言ったのは、つい最近アメリカでね、ニューヨーク、ニュージャージー、ボストン、それからワシントン DC、ロサンゼルス、サンフランシスコ、シアトル、停電したのです。聞きました？中には12時間停電したから、電車とかに閉じ込められて、出られなくて。大きな大災害が起こったけれど、それが何故か一番最初にソーシャルメディアが報告して、大手メディアは報告しなくて、その後ゆっくり出て来ました。出ないわけではないけれど、すぐ消してしまう。

それはね、ある説によると、結局全米にまたがったから「本当はこれはアクシデントで、局所的なものだと。ところが、データを調べたら、全米のあちこちで起こって多発生している。という事は多分 electromagnetic bomb (電磁爆弾) というのは、空中で核爆発させた場合には、スイッチが焼けてしまいます。それで、そういう状態がいつ起こるか。

その日はね、4月何日だったかな？太陽のね、フレアあるでしょう、あれは電子の塊で、ちょうどその日は最高のフレアでそうなったのか、それはどちらか分らないけれど。結局突然その時に電気が止まったものだから、エレベーターは動かない、電車は動かない、真っ暗けで町の信号も点かない。大変な事態が発生したのです。

その時に何かアメリカは、「北朝鮮と核戦争をやるなんて言っていたけれど、実態の本土はもう恐ろしい事が起こったわけですね。だから政府としてもどういう風に対処したら良いか分らないから、報道を止めたわけですが、本当にこの様にしか政府の最高指導者たちがどのようにしたら良いか皆目見当がつかない、でも一般の方々は国が必ず正しく処理してくれると、報道によって操作されているのです。その後少しだけ出して消してしまう。だからその時、何日かな？4月28日か何か忘れた。インターネット開けば見れますよ。公式の情報だから。それは嘘だと言えないから。新聞にも出ているし。

ところが日本では全然出てないでしょう？シアトル、サンフランシスコ、ロサンゼルス、それからテキサスも起こったけれど、大きな規模ではないけれど。ワシントン DC、ニュージャージー、ニューヨーク、ボストン。広大なエリアで起こって、それで6時間くらいエレベーターの中に閉じ込められたとか、電車は全然動かなくて。勿論冷蔵庫、それから水道全部止まります。何故かと言ったら水はね、今は全部ポンプで動かしているからです。

だから私が去年から、最低10リットルか20リットルの水は、何時でも置いておきなさいと。それからマッチと紙、何故かと言ったら火を点けるのにね、その電磁波でこの地

球がやられた場合には、バッテリーが全部やられるわけです。だから何時もバッテリーを外して、ちゃんと別個にしておかなければ、その時トランジスタラジオもつきません。放電してしまうからです。という事が太陽でそれが発生したか、それともエレクトロマグネティック爆弾でやったのか。もう今は戦争の真っ最中だとも言っています、私達何も報道で知らされていないわけです。だからどっちがどっちか分からないけれども、予防策として水と食料とそれから最低の火を点けるマッチ。それもちょうど乾燥させてしっかりと防水してください。

という事は去年オバマ大統領が言っていたわけです。そしてドイツのメルケル首相も言っていました。でブーチン大統領も言っていた。だから何かがこういう風に発生する事は分って居ても、報道しないのですね。

それでオバマ大統領がね、「マイアミ、あれは何時も水が上がったり、下がったり」って本当なの、町全体がマイアミ・シティが町中水がワーストと上がって大変なわけ。だから防ぎ切れない何かが地球規模で発生しているのか、それをはっきり言わないわけです。だからただオバマ大統領が「自分達の命は自分達で守りなさい」と。バージニアは完全に水に埋もれてしまって。その時トランプ大統領がそこでボランティアで助けに行っただけ、こう食糧渡しているのを見たけれど。だから殆ど今は何故そうなったか情報を教えない。

ただ私も分かるのは全部機能が止まっても、最低 10 日分くらいの乾パンとか、それから 10 リットル位の水があれば生き延びるし、それからトイレに水が無くても、新聞を置いてそこでうんこをやれば全然問題無いし。で待つしかない。

【参加者】

70 リットル位の大きなポリ袋を 2 枚位重ねて、それを便器の中に入れて、そのポリ袋の中に新聞紙を入れ、で何回か用を足して、それを縛って捨てるという案もあります。

【水源師】

匂いも出ないし。そしてその電気が動くまで待つしかない。全ての水道はもう今はポンプで稼働しているからね。ただ昔ながらの井戸がある人は大丈夫です。という風な事態が発生するかもしれませんし、しないかもそれませんし。

瞑想により、又外宇宙的生命体により守られている地球

私の感覚ではやっぱり世界第 3 次大戦は今発生しません。あなた方、本当に瞑想しているから、もう消えましたそのバイブレーションは。

ただその今、他の天体がやって来るから、それは去年は 2 週間くらい地球の位置が遅いわけです。遅れているわけです。何故遅れているかと言ったら、地球は何時でも同じ軌道で同じ所回っていると思うでしょう？ 違うのです。この 2014 年から軌道がね、回る軌道が大きくなっているわけです。だからどうしてもポジションが、来るべきところが来ないわけです。

という事は、多分外宇宙的生命体が何かして守っているかもしれない。実際に守っ

ていると思う。と言うのは、この地球は私達だけの地球ではないわけです。この銀河帝国の 900 の宇宙文明が行ったり来たりして、ここが中継地点とか、ちょうど取引場になっているみたいで。

だからどうしてもこれを潰すわけにいかないから、破滅する事はないけれども、ただ過去にそういう風な天変地変が起こったわけです。だからそういう事が歴史的にいっぱい書かれているけれども、それも全部消して、「無いとは言わない、YES とも NO とも言わない、黙っている、無言。」

でも歴史的にはもうその科学的にデータがね、それが巨大な都市が海の下にいっぱいあるし。今ドンドン出ているし。それから太古の巨石文明の巨大な神殿があちこち倒れたり。そういう巨大な神殿は今でも作れないくらいの超高度なテクノロジーだし。何故か私は思うけれども、ニビルも何とかこう上手く去ってくれる様な気がする今のところ。

アメリカの借金で戦争が起こりそうになったら米、油、小麦粉は用意して

それで問題は、このアメリカの借金なのですね。ちょっとお話したかな、どれくらいの借金か。2hundred 20trillion dollar と言ったら、2 京 2000 兆円のお金、借金があってそれは誰も返せないお金で。やっぱりツケはツケで払わなきゃいけない。金の価値として返すとなっている。「金の価値として返します」という。という事がアメリカ 国債の保証になってます、だからアメリカドルが世界で一番強いわけです。

ところが、フォレックス (forex) という金の売買取引所は、その 1 トロイオンスの売買について 100 の金券を出しているわけです。大体 1 トロイオンスのゴールドコインあるでしょう。「そう、あなた。はい、お金は貰いました」と「必ずあなたに渡しますと。そういうね、保証書を 1 つの金貨に 100 枚発行しているわけ(笑)。一般の投資家はね、その金が上がった下がったで、売った買ったで、結果的には米ドルで返ってくれば良いものだから、関係ないのだけれども、実際はその 1 つの金貨に 100 人が賭けているわけです。だから 100 人の内 2 人がね、「その金貨欲しいと「返せ」と、返せない。それで破産、破綻。

それで何をしているかと言ったら、金取引業者にね「金を欲しい」と言ったら、レインディポジットとか言ってね、「待ちなさいと。雨が降っているから、来ないから、何時の日か来るからそれまで待ちなさい」と。レインビルと言うのですね、雨の何というの、日本で言えば領収書「はい、お金は置きました」と「でも来るものは何時来るかわかりません」と。そういう状態がもう 4、5 年前から発生して。

今は、ロシアと中国が金取引でベース、金取引で最終決定、決済しているから、もう本当の金券政治が始まったわけ。ところがアメリカの場合は、結局電子マネーでやっているわけです。裏付けが無いわけです。それで莫大な債権があるでしょう。だから日本も大体 100 兆円の貸しがアメリカにあるけれど、それがチャラになるかも分らない。そうしたらチャラになったら、皆さんの年金が出ません。年金が出ないどころか、日本は殆ど外国から食糧を輸入しているから、お金が払えない。という事でその事をあなたに報告しているのです。

だから戦争が起こりそうだったら、まずお米 1 斗か 2 斗は何時でも用意しておいて、

お水とね、またはメリケン粉とオイル。油とお米とあれば、油で炒めれば何でも食べられるし、油はもの凄く栄養価値が高いから。まあカナダの場合はね、家も大きいし倉庫もありますから、何年も前からちゃんと準備が出来ているわけです。そこから取り出して食べて、入れ替えるから、一旦何が起こっても大丈夫だけれども。

今回はね、ニビルというのはネメシスと言って、第2の太陽がね、鉄の粉で囲まれている、だから真っ赤な太陽そうだそうです[2018年一月六日の真夜中に南中の山の彼方に不気味な赤黒い光がぽっかり照らしていました、エクアドル、ビルカバンバ]だからその代わりにね、電磁波を強烈に出すわけです。だから太古のトルコでもどこでもね、その石の山の中に住んでいるとか、地下に住んでいるというのは、結局電磁波が来ても大丈夫なわけです。

アメリカで一番売れているのは、そういう防空壕で、地下。地下都市のマンション、地下。で食料も一杯あって。その中は、その昼と夜とちゃんと日も変わるし、そのガラスの中でね、プールも見えて緑も見えるけれど、全部もう人工的なもの。でも、私が思うに起こらないと思う。ただ脅かし、まあ脅かしでは無いけれど、やろうとしているけれど、何かがストップ掛けているみたい。

ただし食料は高くなると思います。だから皆さんがね、ちょっとしたガーデン用のそういう物に土を入れたら、プチトマトとか、かいわれ大根とか、ちょっと食べられます。すぐ出来るから。そうしたら相当経費が安くなりますよ。でなければ、大豆を買ってもやしを作れば良いだけ。もやしは簡単に出来る。水をザブザブかけて網の上に置けば、自動的にもやしになって行くから。もやしの発芽した豆には非常に栄養価が高い。それと醤油と味噌があれば、とお米があれば、後は何とかガスボンベがあつて火を点ければ、まあ緊急の一ヶ月は過ごせるから。その内に政府が何とかしてくれると思います(笑)。

それにまた、本当に今核戦争を起こそう、起こそうとしているけれども、どうみても起きないですよ。起こせないし、何か他の力も働いているし。それであなた方がこうしてやっているから、天界の不思議な力もあるのです。そういう生命体も観音様もいるし、そう簡単ではない。人間だけの無い無いで勝手に出来ると、そうならない。特に私達は、こうして瞑想して仏光山で観音様が現れて来ているから、そう簡単ではないですよ。人間の浅知恵でね、象さんはちゃんと山に逃げているのに、海岸でパラソル立ててワイン飲んで海を見ながらザーッと津波にのまれて。その考えだから、あんまり心配しなくても。

あまりにも嘘をつく「民主主義」

ただそういう風な状況を作ろうとしているそういう何か頭の狂った人達がいるのは確かです。そういう人達はね、デーヴァダッタみたいに口が上手いのですよ。民主主義だから、皆が「そうだ」と言ったらもう仕方がない。口が上手だし「そうだろうな」って、それでおしまい。そこが恐ろしいところで。過去3000年の歴史で民主主義が発生したのは、ただ200年、ギリシャだけなのです。今このフランスで200年前に発生して、大体もうこれで民主主義もおしまいだと思う。あんまり嘘をつくものだから。もうボッタクリ政治だからね。

だから南米の大統領は「全てお金を盗んで逃げると言っているよ(笑)。それは南米

だけではなく、何処でも発生している事だと思う。一般の被害者は「民主主義が最高だと、「王様は非常に悪い。私腹を肥やして」と。ところがそう言ってそれを分捕って逃げて行くわけです。とそれを 200 年前から喧伝しているのです。でありとあらゆる国を傘下に治めて行って。

それで全ての大学の先生とかそういう知識人は、そこからお金を貰っているから、もう一般の人は太刀打ち出来ない。ただし宗教家だけがね、本当に宗教だけが本当の事を言わなければいけないけれども、もう宗教家も一緒に仲間になってね、一生懸命「聖人はこうであるとか訳の分らない事をやって。「教会にお金納めなさい」とか言って、「そうすれば救われる」なんて言って、本当に皆分らないものだから、神様がお金必要なのではなかね？私が西洋のお坊さんとか尼さんの建物に行くでしょう、いやー、もう御殿ですよ、御殿。まあ日本には無いだろうけれど。カナダではもう御殿です、でその御殿の方々は特別な人間みたいにさっそうとして、中で暮らしていますよ。

ところがアフリカでは、物も食べられない。一ヶ月食べないのですって、水だけ飲んで、食糧が来るのをジーンと待っていると。確かに一ヶ月食べなくても水さえあれば生きます。慣れてしまえば良いのだろうけれども、でも痩せて行きます。でも子供は死んでしまうでしょうね。そう思います。

一本のマッチをパッと擦れば全部が見える・小さな光でもこの世を救う

【参加者】

ここへ来る数日前から、早起きをして瞑想をしたくなったのですよ。娘が「何で早起きするの」って。「今まで起きて来なかったのに」と。そしたら冗談で「水源先生が呼んでいるのではないかな」って言っていたのです。ところがどうもそれは本当に呼んでいる様だったのです。今朝 6 時半から瞑想にここへ来て 7 時半まで、まさにその時間帯、家でやっていたのですよ。偶然。でその呼ぶと言うか、こう皆さんがやっているのが、私の所へも波動が届いているのかなあと。そういう事ってあるのかな？という質問で。

【水源師】

そうなのです。というのは、結局この世はね、一方的ではないのです。真っ暗けれども逆に少しでも光があったら、真っ暗に出来ないわけです。だから真っ暗闇でもね、1本のマッチをパッと擦れば全部見えるわけ、誰が泥棒か。という事を皆さんがやっているわけ。この小さい光でもこの世を救っているわけ。この波動は、沢山の人がここに来れない人でも、この時間帯で日本中でやっていると思います。本当にやっていると思います。

【参加者】

そうすると、残念ながら今回来れなかったという人も、まあその時間帯にやれば、凄く共鳴出来る。

【水源師】

そうそう、前来している人は、やらなければ気持ちが悪いと思う。何故かやっているはず。何故かちゃんとやっています。それはもう一緒に座っていますという報告が来ているから。外には出られないけれども、ジッとその時間帯は、一緒に瞑想しています。だから皆さんは皆さんだけではないのですよ。過去に因縁のあった参加された方も一生懸命やっているわけです。ただ都合によって来れないだけで。

まあこうしてこう皆さんと一緒に出来るという事は、本当に奇跡的でそれに本当にもう何遍頭下げても、下げても涙流しても感謝しきれないのが、ゴータマお釈迦さまの下で。このお陰で、私がかくサンダブダの下で白牛になって引っ張って行ったという事を観せて貰ったから。この暗き暗き暗き世に出て来たから、ブダとして出て来るには100年と言うのは、もう仏界では最低なのです。それ位真っ暗の世の中に来て、地藏様みたいに皆さんにこう恵みを与えてくれるのです。

大体(寿命の時間帯が)10万年から100歳の間で。だから次の弥勒菩薩は、10万年(の時間帯)で8万年生きます。前のコーナーガマナ・ブダ(俱那含牟尼仏)は4万の生命体で、カッサパ・ブダ(迦葉仏)は3万年生きています。何故か80%は生きるけれども、20%は世の為人の為に残して早く死んで行きます。まあシーンとなりました。

だから仏に出逢うという事は大変な事です。南米に行ってご覧なさい、仏の「ぶも分らないし、私がこうして衣をわざわざ着て歩いたのです。もう皆電車の中から、皆見てジーッと見ている。というくらい強烈なインパクト。

というのは、これはね、私が何故これを着たかと言えば、ミャンマーのお坊さんが、「この衣は最高の福を与えると。「不幸を無くすると。それで私は道化師みたいに、これを着て日本に来たわけです。日本を歩いたのです。そうしたら日本の人がワーッと見て、弘前なんかもう車から皆こう首を出して見ていました。と言うのは生まれたところだからね、やっぱりその大地の神様に感謝しなければいけないでしょう？見た事も無いと思う、これでダーッとこうして歩いているのを。多分同級生が見たら「あれ気が狂ったと思ったでしょう」。

というのはやっぱり私も日本で生まれたでしょう？恩恵があるのです。それで感謝しなければいけないから、これを着て出て来たわけです。またカナダでもこれを着ている理由は、そのカナダの国が安定するという、そういうこれは特別な事なのです。ただの衣ではなくお釈迦さまと同じ衣を着ていると。比丘の、まあ最低の比丘だけだね、まあ破壊僧で悪いのだけれども。それでもこうして着させて貰ってそこに住めば、その大地が祝福されるのです。だから例え私が地獄に落ちても、この衣を着て皆さんに祝福を与えられればね、最高ですよ。



ポロナール、スリランカ

水源禪師法話集 77

(2017年5月4日 大阪合宿6日目)

2018年1月19日 発行

編集兼発行 一乗禅の会